

1 「飲用された御客様から寄せられた野ぶどう酒（茶）の飲用目的別飲用方法（回数・量）の目安（第11版）」

2019/01改 野ぶどう酒直売所 深谷店店主 鮫島良文

	飲用目的例	野ぶどう飲料			飲用方法		最低飲用期間	備考
		野ぶどう酒 ☆☆☆	野ぶどう酒 ☆☆	野ぶどう茶	回数/一日	量/回		
レベル 1	自己治癒力回復向上/睡眠導入作用/安眠作用/健康維持～増進/肝機能強化/老化現象緩和(回春作用)/腹部膨満感解消/軟便解消/胃弱改善/体力向上/癌予防/各種疾病予防/便秘改善/歯槽膿漏予防改善	○	◎	○	酒：夜(就寝前) 1回 又は 茶：数回	20ml 100ml	2～3週間 4～6週間	①野ぶどう酒は、水で数倍に薄めても作用に変化はありません。 ②野ぶどう茶は外出時、ペットボトル等に小分けしてご利用下さい。
レベル 2	花粉症緩和/肝機能改善/腰痛緩和/膝痛緩和/鼻炎緩和/アトピー緩和/関節痛緩和/アレルギー改善/筋肉痛緩和/無呼吸症候群改善/口内炎改善/老眼改善/白内障緩和/白髪減少/美肌作用/各種癌予防	○	◎	花粉症には どのサ プリメン トより良 いと高 評価	酒：朝夜2回 又は 茶：数回	20ml 100ml	3～4週間 6～8週間	野ぶどう酒は ①朝・昼は出来れば食前に飲用して下さい。②運転予定時前飲用は避けて下さい。
レベル 3	高血圧改善/糖尿病改善/痛風改善/リュウマチ緩和/不整脈改善/喘息緩和/気管支炎改善/ポリープ改善/脂肪肝改善/動脈硬化改善/膀胱炎改善/尿道炎改善/アルツハイマー型認知症予防/内臓臓器保護(機能正常化)作用/腎臓結石改善	◎	○	○	酒：朝夜2回 併用 茶：数回	20ml 100ml	3～4週間 3～4週間	酒茶併用の目的は、体内に3～4時間しか留まらないとされるポリフェノールを、出来るだけ体内に常駐させることを目的とします。
レベル 4	肝炎改善/肝硬変改善/各種癌諸症状改善/悪性リンパ腫改善/間質性肺炎改善/甲状腺腫瘍改善/肺気腫改善/子宮筋腫改善/掌蹠膿疱症改善/膠原病改善/骨密度改善/ピロリ菌除菌作用	◎	○	○	酒：朝昼夜3回 併用 茶：数回	20～30ml 100ml	1～3ヶ月 1～3ヶ月	酒茶併用時のお茶は酒飲用後、2～3時間間隔を目安に飲用して下さい。
外用塗 布作用	虫刺され・軽い火傷・打ち身・捻挫・腰痛・膝痛・バネ指・リュウマチ・痛風の腫れ軽減・水虫・気管支炎・アトピー・掌蹠膿疱症等	○	◎	煮出し 後沐浴 剤として 保温 美肌作 用	症状により、入浴後又は発症時に塗布～湿布。霧吹き等による吹き付けも好評。		なるべく早期使用が望ましい。	「原酒の素」は使用後、沐浴剤として、美肌・保温・痒み止めとして優れた作用を発揮します

(注記)

- ①飲用目的例は当店の御客様から頂いたものの例示です。飲用方法及び期間は頂いた情報を目安として作成しましたので参考にして下さい。
- ②野ぶどう酒（茶）はお薬ではありません。あくまでも、日常の健康維持～向上・各種疾病諸症状の緩和等に良い作用を与えるであろうと期待できる健康飲料です。
- ③他のお薬との併用は問題ないとされていますが、野ぶどう酒（茶）の飲用により身体に異常が認められた場合は、直ちに飲用を中止して下さい（ビタミンKの含有量も確認済みで、ワッハリン等の溶血剤の作用を妨げることはありません）。
- ④たまに、野ぶどうの別名（ブス・ドクブドウ）等から毒性を疑われる方がいらっしゃいます。無毒であることは文献にも発表されておりますし、野ぶどう酒研究開発機構の毒性実験でも無毒であることを確認しております。
- ⑤諸症状が緩和・改善されると安心して飲用を中断される方がいらっしゃいますが、その後症状がぶり返す例が多くあります。年配の方の場合、諸症状が再発した時点では、更なる加齢により体力が低下しており、野ぶどう酒（茶）を再飲用されても、良い作用が得られるまでに最初よりは長い時間を要します。全面的な中断は極力避けて、諸症状緩和・改善後も最低一日一回20ミリリットルの継続飲用をお勧め致します。
- ⑥野ぶどう茶の放射能汚染については、それぞれ測定の結果、深谷野ぶどう園・木更津野ぶどう園共に安全レベル範囲内にあることが確認されて
- ⑦「グリッター純粋野ぶどう酒原酒の素」で造った原酒は、「二つ星レベル原酒」は「29年製野ぶどう酒同等品5本」、三つ星レベル原酒」は「29年製野ぶどう酒同等品8本」に希釈することができます。

